

分類 番号	A32	取組 名称	近代京都の市街地の形成と建築様式・用途との関連性に関する研究
研究代表者：	生命環境科学研究科	職・氏名：	教授・大場 修
研究担当者：	外部分担者：矢野桂司氏（立命館大学・教授）／高田光雄氏（京都大学・教授）／福島幸弘氏（京都府立総合資料館・庶務課・副主査）ほか		
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名）	公益財団法人 京都市景観・まちづくりセンター、京都府立総合資料館歴史資料課、立命館大学など		
【研究活動の要約】			
<p>今年度は3年度計画の2年度として、初年度の成果に基づき京都の郊外住宅地がどのように市街地化されたのか、西陣地区西部の郊外住宅地に加え、南区東九条周辺を取り上げた。26年度に確立した方法論を援用し、現地調査をこれに重ねつつ検討した。加えて、西陣地区西部における戦前の区画整理地区における新型町家の建築類型の把握に努めた。関連して、戦前期における新聞広告を悉皆調査し、これらがどのように市場に流通したのかを探った。</p> <p>具体的には、京都市西部及び南部東九条地域を取り上げ、市街地の拡張過程を26年度に開拓した研究手法を援用しつつ明らかにした。具体的には、明治22年発行の仮製地形図（京都）から明治期の状況を復元的に検討した上で、明治中期以降の宅地化の状況を詳細に検討するために、地籍図（大正元年）や2種の京都市明細図（昭和初期・昭和20年代）を用いつつ土地利用の変遷過程を押さえ、さらに土地台帳から農地から宅地への「地目変換」の状況とその時期を特定しつつ地図に落とすことで、住宅地形成の過程を宅地の一筆単位で捕捉した。その際、立命館大学歴史都市防災研究センターにより作成されたGIS地図データを多用した。あわせて、現地調査による現存する住宅遺構の建築調査によりこれらの郊外住宅の建築類型を把握した。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>その結果、まず、西陣の西部地区では、農地から宅地への地目変換後に土地分筆によって土地が細分化する一連の過程を明らかにした。しかも、土地が細分化する過程で、街路計画が先行した開発と、住宅地の形成及び住宅の建設が先行した開発の混在を確認した。さらに所有状況等が、街区形成や宅地の形状に影響を付与したことを示した。南区東九条においては、大正から昭和初期にかけて竹田街道の東西両地区において住宅地が拡張し、工場用地と住宅地が混在する地域としての性格が明確になり、昭和戦前期の区画整理に伴う道路敷設により整形街区が作られ、市街地が拡張していく状況を明らかにした（図1/2）。この地域における住宅地の形成過程は一貫して旧来の条里制の地割線をなぞるように作られ、その特徴は現在にまで引き継がれていることを明確にした。</p> <p>また、西陣の西部地区においては、天神川より東側の明治期から住宅地を形成していた地域と、天神川以西の土地区画整理事業によって新たに宅地化された地域では、町家の家屋の特徴が異なることを明らかにした。このような町家形状の違いは宅地化の時期との関係が窺え、土地区画整理事業による昭和前期に形成された街区では、伝統的な町家形式とは異なる近代の特徴を備えた近代町家が新たに形成されたことを本論は明らかにした（図3）。しかも、これらが連担する町並みは近代特有の景観を構成していることを本研究は指摘した。</p> <p>さらに、昭和5～15年の『京都日出新聞』に掲載された住宅関連広告を悉皆調査した（図4/5）。その結果、土地の広告は北区・左京区・右京区に多く確認できた。売家の広告では、北区・左京区に加え、上・中・下京区に多く確認できた。利回の広告は、少ない件数の中でも左京区・中京区に多く確認できた。宅地は100坪以上のものを含め、民間の土地会社による広告に総じて規模の大きなものが中心に掲載されていた。昭和10年頃には府外の京阪神間の住宅地等の広告が増えることも、これと呼応する。その中では、京都市による「大札記念京都博覧会跡地」の土地物件は24坪と比較的小規模宅地の広告で、この付近における標準的な宅地の状況を明らかにした。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>■主な報告会、研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究会 H27/7/26・H27/11/30、於『京都市景観・まちづくりセンター』 成果報告会、H28/2/15、於『京都市景観・まちづくりセンター』 成果報告会、H28/2/19、於『立命館大学歴史都市防災研究所カンファレンスホール』 <p>■主な成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 橋本歩美・河角・大場「近代京都における市街地形成と土地区画整理事業に関する史的研究-京都市西部を事例に-」『日本建築学会近畿支部研究報告集』2016,6月 吉川貴絵・葉狩由衣子・河角・大場「近代京都における市街地拡張にともなう町家形成に関する史的研究」『日本建築学会近畿支部研究報告集』2016,6月 原田萌・河角・大場「『京都日出新聞』広告にみる戦前期京都における住宅地分譲の売買動向」『日本建築学会近畿支部研究報告集』2016,6月 中村莉乃・小畑紗良・河角・大場「近代京都の市街地南部における住宅地拡張に関する研究」『日本建築学会大会学術講演梗概集』2016,9月 			
【お問い合わせ先】 生命環境科学研究科 史的住環境学研究室 教授・氏名 大場 修			
Tel: 075-703-5419		E-mail: oba@kpu.ac.jp	

参考（イメージ図、活動写真等）

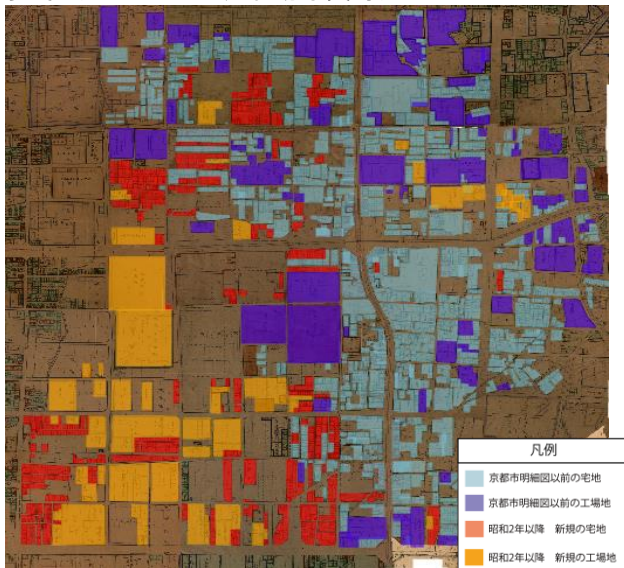


図1 京都市南部東九条周辺の宅地開発状況（昭和初期から戦後）「長谷川家明細図」と「京都市明細図」の比較

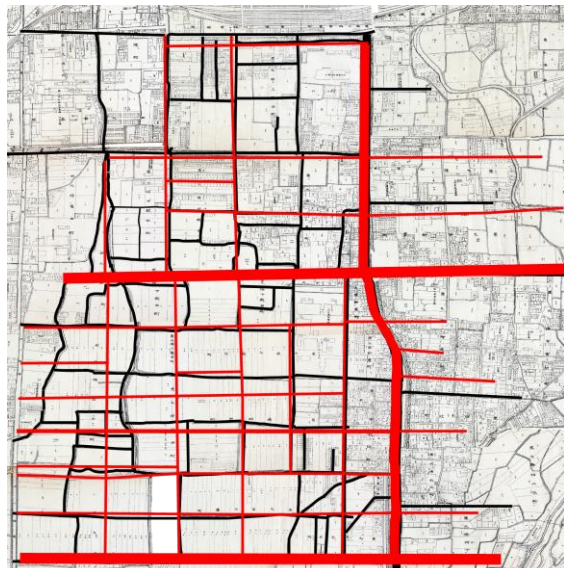


図2 京都市南部東九条周辺における道路敷設状況の比較

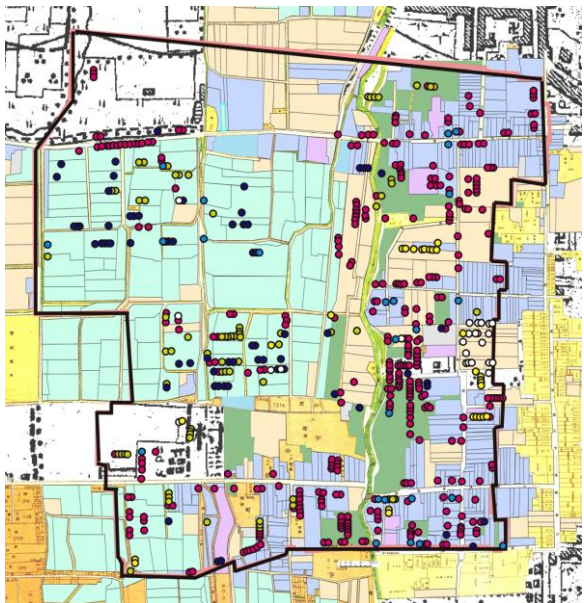
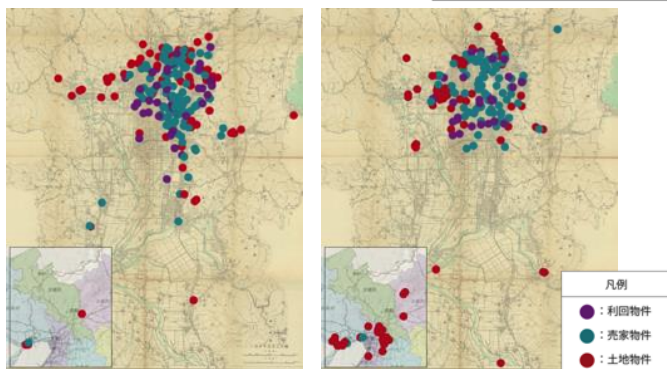


図3 類型別家屋分布図（京都地籍図地目別着色）



昭和5年～9年

昭和10年～15年

図4 年代別「京都日出新聞」広告物件の分布

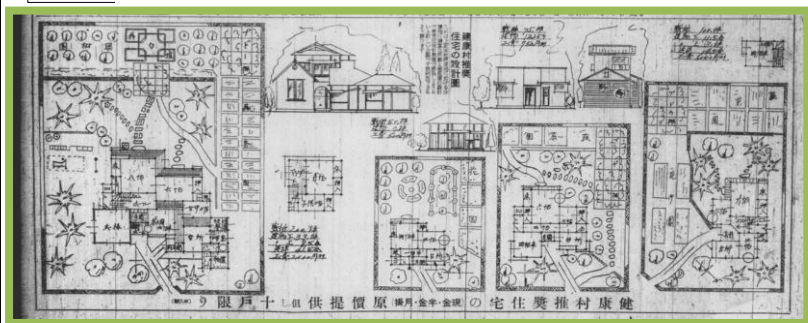


図5 「京都日出新聞」広告事例（左：昭和11年5月23日掲載 右：昭和5年8月10日掲載）